

機能追加に関するご案内

取扱説明書の内容に加えて、いくつかの機能が追加されます。本資料では、追加される機能について説明します。また、付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

以下の機能が追加になります。

- DTS-HD の音声出力
- スピーカー設定
- 画像ファイルの再生

! ご注意

- 機能追加によりスピーカー設定が初期化されます。7.1 チャンネルアナログ出力を使用するときは、スピーカー設定を確認してください。

DTS-HD の音声出力

BD-ROM に記録されている DTS Digital Surround、DTS-HD(DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio) の出力が変更になります。

- 機能追加前は、DTS-HD はそれらに含まれている DTS Digital Surround をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力していました。機能追加後は、DTS-HD をリニア PCM またはアナログ音声に変換して出力します。
- 7.1 チャンネルのスピーカーシステムでご使用の場合、DTS Digital Surround が最大 7.1 チャンネルで出力されます。

詳細については以下の表をご覧ください。

太字部が変更点です。

音声の種類	音声出力端子		デジタル音声出力端子		HDMI 出力端子 ^{*1}	
	2 チャンネル ^{**2}	マルチチャンネル ^{**2}	リニア PCM 音声 に変換する ^{**3}	リニア PCM 音声 に変換しない ^{**4,5}	PCM ^{**6}	自動 ^{**6,7,8}
BD-ROM	DTS Digital Surround				7.1 チャンネル 音声^{**9}	DTS Digital Surround
	DTS-HD High Resolution Audio	2 チャンネル 音声に変換	7.1 チャンネル 音声^{**9}	2 チャンネル 音声に変換	DTS Digital Surround	DTS-HD High Resolution Audio
	DTS-HD Master Audio				7.1 チャンネル 音声^{**9,10}	DTS-HD Master Audio ^{**11}

- ※1 リニア PCM 音声を出力しているとき、接続している HDMI 機器の対応しているチャンネル数が少ないときは、機器に対応したチャンネル数が出力されます。
- ※2 [音声出力モード] が [2 チャンネル] または [マルチチャンネル] に設定されているとき。
- ※3 [DTS 出力] が [DTS → PCM] に設定されているとき。
- ※4 [DTS 出力] が [DTS 1]/[DTS 2] に設定されているとき。
- ※5 [DTS 出力] が [DTS 2] に設定されていると、DTS Digital Surround のビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。
- ※6 [HDMI 音声出力] が [PCM] または [自動] に設定されているとき。
- ※7 DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、または DTS Digital Surround をビットストリームで出力しているとき、第 2 音声 (セカンダリオーディオ)、インタラクティブオーディオは混合されません。
- ※8 接続している HDMI 機器が DTS-HD Master Audio、または DTS-HD High Resolution Audio に対応していないときは、DTS Digital Surround のビットストリームで出力されます。
接続している HDMI 機器が DTS Digital Surround のビットストリームに対応していないときは、リニア PCM で出力されます。
- ※9 7.1 チャンネルのサラウンドバックにだけ対応しています。6.1 チャンネルのサラウンドバックは 7.1 チャンネルで出力されます。それ以外は、5.1 チャンネル以下の音声で出力されます。
- ※10 出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては 2 チャンネルで出力されることがあります。
- ※11 出力解像度を 480i または 480p に設定すると、[HDMI ハイスピード伝送] の設定または接続している HDMI 機器によっては、DTS Digital Surround のビットストリームで出力されることがあります。

! ご注意

- 音声端子として選んだ端子以外のすべての端子からの出力は、コンテンツ製作者の意図したようには聞こえないことがあります。

- 米国特許 5451942 号、5956674 号、5974380 号、5978762 号、6226616 号、6487535 号、7392195 号、7272567 号、7333929 号、7212872 号、または、米国およびその他の国での登録済み特許、または特許申請中の実施権に基づき製造されています。DTS は DTS 社の登録商標であり、また、DTS のロゴ、記号、DTS-HD および DTS-HD Master Audio | Essential は DTS 社の商標です。©1996-2008 DTS 社 不許複製。

スピーカー設定

スピーカー設定で、以下の設定が可能になります。

- それぞれのスピーカーの大きさ
- サブウーファーのあり / なし (接続の有無)
- クロスオーバー周波数

この設定は [音声出力 (7.1 ch)] 端子にだけ有効です。

クロスオーバー周波数は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーの低音域の何 Hz 以下をサブウーファーまたは L/R に振り分けて出力するか、また LFE (もともとサブウーファーに出力するチャンネル) の何 Hz までを出力するかを設定します。

スピーカーの設定を変更する

- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、クロスオーバー周波数は [バイパス] を選んでください。
- スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは、クロスオーバー周波数を選んでください (バイパスは選べません) 。

1 停止中にホームメニューを表示する

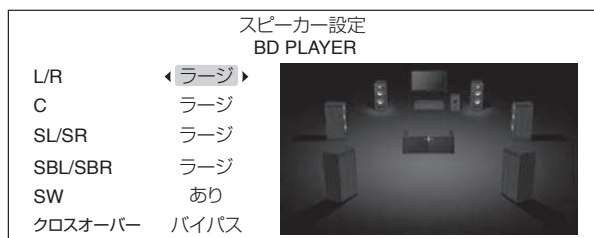
🏠 ホームメニューボタンを押します。

2 [本体設定] → [スピーカー] → [スピーカー設定] → [次画面へ] を選ぶ

↑/↓ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。

3 スピーカーを選んで設定を変更する

↑/↓ ボタンで選んで、←/→ ボタンで設定を変更します。



- L/R (フロントスピーカー左 / 右) … ラージ / スモール
- C (センタースピーカー) … ラージ / スモール / なし
- SL/SR (サラウンドスピーカー左 / 右) … ラージ / スモール / なし
- SBL/SBR (サラウンドバックスピーカー左 / 右) … ラージ / スモール / なし
- SW (サブウーファー) … あり / なし
- クロスオーバー … バイパス / 50 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 150 Hz

お知らせ

- 設定値の組み合わせによっては、設定を変更したスピーカー以外の設定値も自動で変わることがあります。
- フィルターをバイパスする機能のあるサブウーファーを接続して、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがないときは、サブウーファー側のフィルタをバイパスに設定すると、本機の高精度なデジタルフィルタ

を使用できます。このようなとき、クロスオーバー周波数は [バイパス] 以外に設定してください。

- クロスオーバー周波数の初期値は [バイパス] に設定されています。
- 機能追加前は、スピーカーの大きさを [スモール] に設定しているスピーカーがあるときは [100 Hz] で、ないときは [バイパス] で動作していました。
- 機能追加後は、スピーカー設定がすべて初期値に設定されます。7.1 チャンネルアナログ出力を使用するときは、スピーカー設定を確認してください。

画像ファイルの再生

DVD または CD に保存されている画像ファイルの再生が可能となります。

! ご注意

- DVD では ISO 9660 ファイルシステムで記録されているファイルだけ再生できます。

再生できるファイル

❖ 画像ファイルの対応フォーマット

- JPEG

ファイルフォーマット : JFIF Ver. 1.02/Exif Ver. 2.2

解像度 : 4096 x 4096 ピクセルまで

ベースライン JPEG にだけ対応しています。

❖ 再生できるファイルの拡張子

- 画像ファイル
.jpg .jpeg

画像ファイルを再生する

1 ホームメディアギャラリーボタンを押してホームメディアギャラリーを表示する

ホームメニューから [ホームメディアギャラリー] を選んで、決定ボタンを押しても表示できます。

2 [ディスク] → [フォト] → [フォルダー] または [すべてのフォト] を選ぶ

↑/↓ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。

- フォルダー … フォルダーごとにファイルを表示します。
- すべてのフォト … 記録されているすべてのファイルを表示します。

[すべてのフォト] を選んだときは、手順 4 に進みます。

3 再生したいファイルが入っているフォルダーを選ぶ

↑/↓/←/→ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。

選んだフォルダー内のファイルやフォルダーが表示されます。

4 再生したいファイルを選んで決定する

↑/↓/←/→ ボタンで選んで、決定ボタンを押します。



選んだファイルからスライドショー再生を始めます。
ツールメニューから [スライドショー] を選んでも、スライドショー再生を始めることができます。

❖ スライドショー再生について

ディスクまたはフォルダー内のファイルを、自動で切り換えて表示します。

- ◀◀/▶▶ ボタンで前後のファイルを表示できます。
- 画面表示ボタンでディスクの情報を表示します。
- 再生中に ■ 停止ボタンを押すと、停止した場所を記憶します。▶ 再生ボタンを押すと停止した場所から再生します (つづき再生)。

❖ 画像を回転する

1 スライドショー再生中にアングルボタンを押す

- 押すたびに画像が時計回りに回転します (90 度 → 180 度 → 270 度 → 0 度 → …)。

ツールメニューから [回転] を選んでも、画像を回転できます。

❖ プレイモードの種類について

画像ファイル再生中は、[オールリPEAT] と [ランダム再生] が可能です。[オールリPEAT] はフォルダー内のファイルを繰り返し再生します。